

令和4年度ホタテガイ採苗情報（第3報）

令和4年5月12日

発行：岩手県水産技術センター

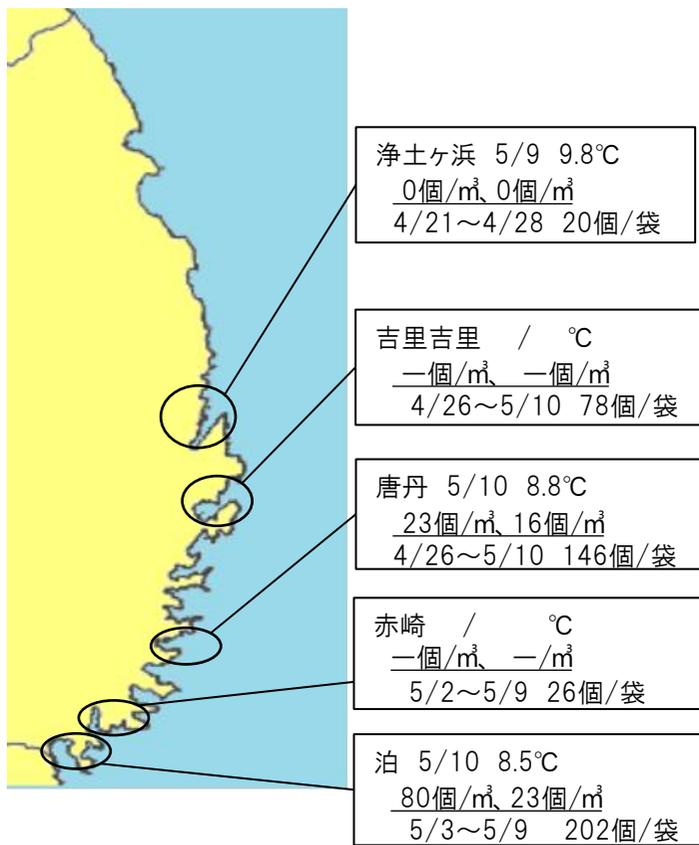
協力機関：沿海振興局水産部・水産振興センター
関係漁業協同組合



唐丹湾ではホタテガイの大型ラーバ、付着稚貝数が増加。

< 調査結果の概要 >

- 唐丹湾の水深10m層の水温は8.8℃で、透明度は10.0mでした。水温は例年より低く推移しています。
- 唐丹湾では、殻長200μm未満の小型のホタテガイラーバが23個/m³、200μm以上の大型のラーバが16個/m³出現し、200μm以上の大型個体の割合が上昇しました（2.4%→41.0%）。
- 唐丹湾ではホタテガイ付着稚貝が146個/袋（採苗器14日間垂下）確認され、そのうち付着直後の稚貝は29個/袋でした。
- 県下沿岸各地でも稚貝の付着が確認されています。



調査点 調査日 水深10m層水温
ラーバ出現数(殻長200μm未満、200μm以上)
試験採苗器垂下期間 付着稚貝数

図1 各定点の調査結果
(国土地理院地図 国土地理院HPより)

次報は、5月18日頃に
発行する予定です。

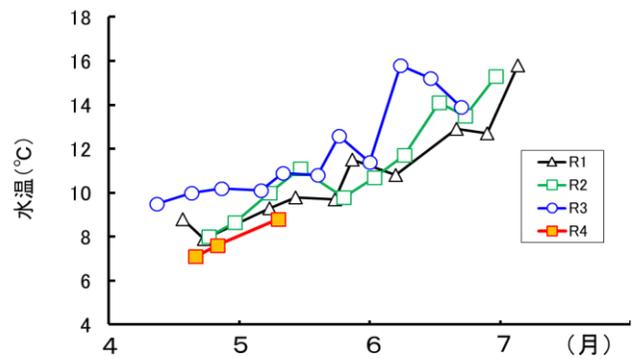


図2 唐丹湾定点における水深10m水温

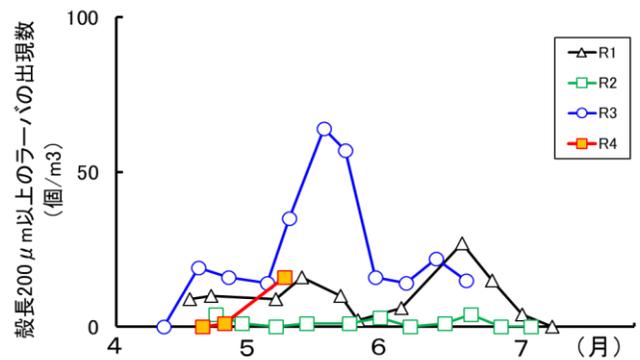


図3 唐丹湾におけるホタテガイラーバ出現数

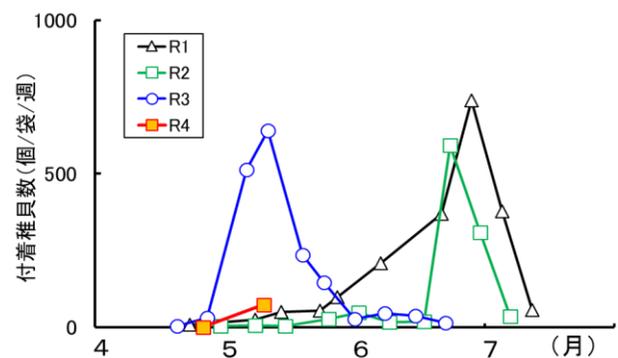


図4 唐丹湾における1週間当たりのホタテガイ付着稚貝数